

苫小牧港西港区で2棟目となる屋根付岸壁の現地説明会を行いました

築港課、苫小牧港湾事務所

12月14日(金)、苫小牧港西港区汐見地区で整備を進めている屋根付岸壁(第2期)の工事が最盛期を迎えていることから、報道機関を対象に現地説明会を行いました。

室蘭開発建設部では、平成29年度から苫小牧港西港区汐見地区で屋根付岸壁の整備を進めており、全3棟の計画のうち2棟目(第2期)の工事を、本年度中の完成に向けて実施しています。

参加した報道機関3社に対し、屋根付岸壁の工事概要等について説明し、地中はり鉄筋組立の施工状況を公開しました。



工事概要等について説明

(苫小牧港湾事務所 松本第1工務課長)



地中はり鉄筋組立の施工状況
(屋根付岸壁2棟目)



屋根付岸壁利用状況(A工区)

整備計画等について説明

(苫小牧港湾事務所 山下計画課長)

【屋根付岸壁の整備効果】

- ・カモメなどの鳥害や異物混入、日射等を防ぐことで**水産品の品質確保**
- ・風を防ぐことで、**船舶係留の安全性が向上**
- ・風や雪を防ぐことで、**施設利用者の就労環境が改善**
- ・(計画的な老朽化対策の実施)**物揚場施設が延命化**



**高品質な水産品の効率的な流通体制の確保により
水産品の輸出拡大に貢献します**